

瓦礫類一時保管エリアA1の破損について

平成27年3月16日

東京電力株式会社



東京電力

1. 事象概要および発生場所

- 2月16日10:03頃、当社のパトロールにおいて、瓦礫類一時保管エリアA1（Aテント）の上部シート（約14m×約3.6m）が破損しているのを発見。
- 破損原因は現在確認中だが、2月15日の強風によるものと推測。



2. 瓦礫類一時保管エリアA1（Aテント）状況

- 一時保管エリアA1（Aテント）には、高線量の瓦礫（30mSv/h未満）に遮蔽を行って一時保管している。
- 保管容量2,400m³のうち、現在の瓦礫保管量は約20m³である。
- テント内には遮蔽用の土嚢（トンパック）の他、瓦礫入りの金属容器を仮置きしている。



3. モニタリング状況（1 / 2）

（前回報告内容）

■敷地境界MP（線量率）

MP1：1.9 μ Sv/h前後（有意値変動なし）

MP2：3.6 μ Sv/h前後（有意値変動なし）

■敷地境界MP（ダスト）

MP1、MP2における連続ダストモニターの値は有意な上昇なし

■テント入り口付近の線量率

0.16mSv/h（2/10） → 0.14mSv/h（2/16）：変動なし

■テント内外ダスト濃度

テント内：3.1 $\times 10^{-5}$ Bq/cm³（（Cs-134）6.7 $\times 10^{-6}$ Bq/cm³、
（Cs-137）：2.4 $\times 10^{-5}$ Bq/cm³）

テント外：検出限界値未満

（検出限界値：（Cs-134）1.8 $\times 10^{-6}$ Bq/cm³、
（Cs-137）2.8 $\times 10^{-6}$ Bq/cm³）

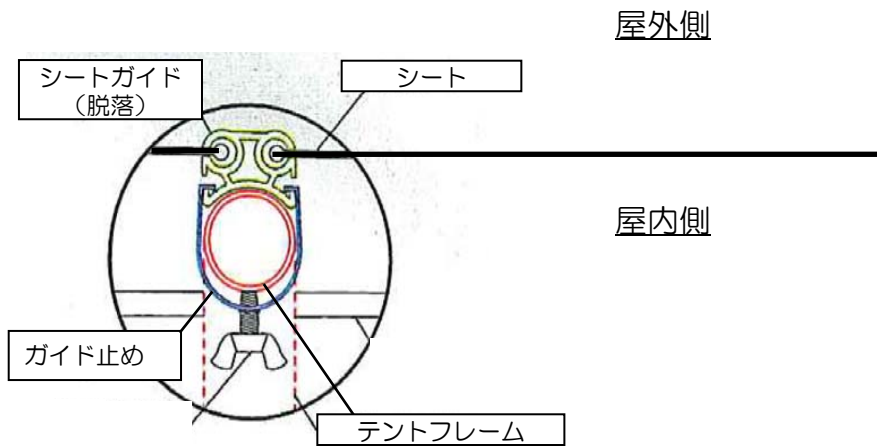
3. モニタリング状況 (2/2)



ダスト測定結果			
測定日	測定場所	測定結果 (Bq/cm ³)	備考
H27.2.16	テント内	3.1E-05	テント破損確認日
	テント外	検出限界値未満 (Ge: 1.8E-06(Cs-134), 2.8E-06(Cs-137))	
H27.2.19~3.2	テント外	検出限界値未満 (GMAD: 9.6E-06~1.2E-05)	2月20日 瓦礫部養生
H27.3.3	テント内		テント内シート養生完了
H27.3.7~3.13	テント外		シート養生後の調査のため、 3月7日よりダスト測定再開
H27.3.11	テント内		
H27.3.13			

※2月19日、3月1日、3月7~9日は雨天のため未測定

4. 推定原因



屋根部断面図 (A-A)



シート切断部拡大状況

■ 事象発生の原因 (推定)

- ・ テント設置から約3年5ヶ月 (2011年9月～2015年2月) の間、風を受けている影響でテントフレームに固定しているシートガイドが脱落しシートが外れたと推定される。

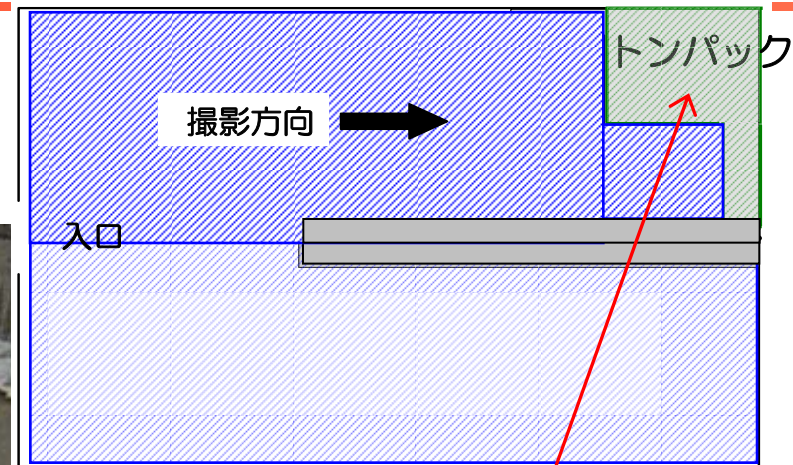
尚、具体的な原因については今後詳細に調査する。

(参考)

- ・ 設計風速 : 30 [m/s]
- ・ 当日の最大風速 : 20.2 [m/s]
(サイト内風向風速計データ)

5. 対応状況

全面シート敷設
完了状況 (H27.3.2)



平面図

トンパック下の瓦礫について、5月以降に順次覆土式保管エリアへ搬出予定。

6. 補修工程

Aテント補修工程

3月中旬より足場等の安全設備等設置後、4月末までに破損部のシートを張り替え予定

	3月	4月	5月	6月
1. 応急処置	シート養生			
2. 破損状況調査	足場整備・調査			
3. テント破損部復旧		シート張り替え		
4. その他点検・調査			屋根部金物他点検	

- ※ 現状、事前調査の結果からシートガイドの脱落による損傷を想定した修理工程を示す。
よって、今後の詳細調査により補修工程を見直す事とする。